笑顔かがやく光っ子　みんなで育てる光っ子

学校便り

第３６７号
平成２９年３月１日

練馬区立光が丘第八小学校
校　長　　鈴　木　隆　志

共 に 生 き る

校　長　　鈴木　隆志

先月上旬頃から、わかば学級の教室前にあるコブシの木が美しい花を咲かせ、春の訪れを告げています。「練馬区の木」に制定されているコブシの木ですが、実は、この木は、光八小にとって、とても大切な木なのです。２８年前、平成元年４月１日、本校は開校しました。その開校記念植樹として植えられたのが、このコブシの木なのです。開校から２８年、コブシの花は、毎年、新しい春を迎え、ずっとずっと、光八小と光っ子たちを見守り続けてきたのです。今年も満開のコブシの花が、光っ子たちの笑顔を優しく包んでくれています。

３月１１日、東日本大震災から６年の節目の日を迎えます。あの大地震、大津波が押し寄せる中で産まれた子供たちも、４月には小学校に入学します。

> 福島県新地町で産まれた菅野悠人くんの父親の手記です。＜… 午後２時４６分、巨大地震発生。「キャー怖い。怖いよー、怖いよ」と叫び泣き出す妻。… 立っていられないくらいの大きな揺れがまだまだ続いていた。分娩室の中はぐちゃぐちゃになった。倒れてくる機材。消えたりついたりしている照明。「奥さんの頭を守って」と看護師の厳しい声が響く。バスタオルで妻の顔を覆い、その上にかぶさるが、収まらない揺れで自分が立っていることも難しく、分娩台にしがみついていた。… 赤ん坊は頭が見えてきた状態のままだ。… 看護師も助産師も院内のチェックのために出てしまった。「誰かいませんか」と大声で叫ぶと、院長が来てくれた。「これからすぐに吸引分娩に切り替えて、赤ん坊を早く出したいと思います」… 午後３時７分、やっと赤ん坊が出てきたが、無事に産まれてきたことに感激している状況ではなかった。…＞
>
> 宮城県七ヶ浜町で産まれた阿部一花（いちか）ちゃんの母親の手記です。＜… 娘の名前。一つの花と書いて「一花」と名付けました。… 私たち家族にとって一つだけの特別な存在という″オンリーワン″の意味、そして大変な時だからこそ一つの希望になってほしい、との願いを込めて、私が命名しました。… 娘が大きくなったら伝えたいことがたくさんあります。たくさんの大切な命が失われたこと、でもそんな中生まれてきてくれたあなたに、家族全員が救われたこと、そして何より、多くの人が心からあなたの誕生を祝ってくれたことを。震災の日生まれではなく、３月１１日はあなたの大切な誕生日だよ、と。…＞
>
> 『３・１１に生まれた君へ』（北海道新聞社・福島民報社・河北新報社・岩手日報社合同発行）より

震災のため避難を続けている子供たちへの「いじめ」が問題になっています。「放射能が付くから近付くな」と言われたり、名前に『菌』を付けられたり、金銭を巻き上げられたり、おごりを強要されたり、物を隠されたり、仲間はずれにされたり、無視をされたり、…。断じて許せないことです。光っ子たちには、人の痛みが分かる優しさを身に付けさせていきます。

昨年７月２６日、障害者支援施設である神奈川県立「津久井やまゆり園」において、多くの尊い命が奪われるという大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、神奈川県は「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定しました。

> 一　私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
> 一　私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
> 一　私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
> 一　私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

事件の背景には、障害者を切り捨てる優生思想がはたらいていることは事実です。事件のその後を追ったテレビドキュメンタリー番組で、「共生社会はいつになったら実現するのか。今は心配でたまらない。」とコメントしていたのは、かつて本校で副籍交流をしていた子の保護者でした。未来を生きる光っ子たちには、命の尊さが分かり自他の命を大切にしながら生きていく人間になってほしいと願っています。